

[第158回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 1 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 2 月 1 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.209～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2025 年 1 月 4 日(土)、安曇川公民館で第 157 回藤樹人間学塾を開きました。正月早々の寒い中、大阪から1名、大津から 2 名を入れて 7 名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」書簡の 2 弟子一人もなし、心の奥底の眞実・不実、『論語』の首章の意味を輪読し、説明。

■ 配布資料

(1)「まなざし 476 号」、(2)論語講義、(3)森信三『全一的人間学』『道徳と宗教』等。

■ 今日のポイント

- ・ 心の奥底の眞実・不実…心は見ることは難しい。善に誠実なところがあれば一度は欲に惹かれるとしても最後は善の道に戻るはずだ。志のない人は善悪の道を漂う。
- ・ 万事修養…稲盛和夫「困難とは神様がもっと成長してほしいという愛をもって与えたもの」
- ・ 『全一的人間学』『道徳と宗教』…道徳において重んずべきは実践である。国際化が進む現代では全人類共通の道徳理念が必要である。宗教は、我われ人間はこの地上の「いのち」を終えた後、生まれ出する以前の根源の「いのち」へ還るわけだが、それを理解できないために死後も「いのち」の持続を願う人の心を救うものである。

■ フリートーキング

- ・ 「朋有り遠方より来る 亦楽しからずや は、この塾のことを言っているようだ」
 - ・ 「病気になった友人がこれは天命だと言ったので、天命とは何かを考えた。自分の命は自分で守る。能登の人々の支援など、やれる範囲のことはやることが義であり天命だと思う」
 - ・ 「先般、藤樹市民劇を見て藤樹先生は今も生きていると思った。今年したいことは、困っている人を助ける。高齢になった親に対しできる限りの孝行をする」
 - ・ 「ずっと善人で地位の高かった人が晩節を汚すことがあるように人の心は変化するものだ」
→孟子は性善説で荀子は性悪説であるが、中江藤樹は、吉田公平先生によれば性善悪混然説である。そういうこともあり藤樹先生は良い心を伸ばす工夫が大事と言われている」
- 等の意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

